

平成 27 年度ジェネリック医薬品差額通知効果測定結果

1 対象基準

ジェネリック医薬品に切り替えた場合、1 薬剤当たりの差額が 100 円以上かつ被保険者一人当たりの差額の合計が 300 円以上の医薬品を処方された者

2 通知発送日

平成 27 年 9 月 25 日（金）

※ 平成 27 年 5 月調剤分データによる

3 対象者数

47,472 人

4 通知対象医薬品

循環器官用薬 呼吸器官用薬 消化器官用薬 糖尿病用薬など

5 診療年月別切替人数・切替率

診療年月	平成 27 年		
	10 月	11 月	12 月
切替人数	2,768 人	3,472 人	3,535 人
切替率	5.8%	7.3%	7.4%

※ 通知された者のうち、ジェネリック医薬品に切替えた被保険者の人数・割合

6 診療年月別削減額（患者負担相当額を含む）

診療年月	平成 27 年			年間見込額
	10 月	11 月	12 月	
削減額	9,685 千円	12,897 千円	12,548 千円	140,520 千円

【参考】 ジェネリック医薬品置換え率（平成 28 年 1 月調剤分）

後発医薬品 利用割合	数量シェア
	61.2%

※ 1 数量シェアは、後発医薬品数量 ÷（後発医薬品のある先発医薬品数量 + 後発医薬品数量） × 100

2 全国平均後発医薬品利用割合 61.5%（平成 28 年 1 月調剤分）

（出典：「最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」（厚生労働省保険局調査課））